



「みなさん、校門の横の花壇のアジサイとオレンジ色のユリの花がきれいに咲いていることに気づいていますか？朝、登校の時、きれいなアジサイとユリの花を見て、明るい気持ちで、元気にあいさつをして教室へ向かってください。」と、先日、園芸委員会の児童が放送してくれました。オレンジ色のユリは、3年前に日研フードの方にいただいた苗を、園芸担当者が大切に育ててきたものです。ぜひ、足を止めて見てください。



さて、代表委員会で雨の日の過ごし方について話し合いました。そして、雨の日のルールが決まり、山名っ子委員会の児童がポスターを作成しています。約束を守って落ち着いた生活をするように声を掛け、1学期後半の学びを充実させていきます。

## ～6/6の会礼での校長の話～

6月になりました。「梅雨」の季節で雨が多くなります。外で遊べない日が多くなりますが、室内で安全に気持ちよく生活できる方法を考えてくださいね。

先月の会礼で「あ・は・はの『あ』」あいさつのお話をしました。毎朝、正門で皆さんを迎えています。元気よくあいさつができる人だけでなく、目が合うと頭を下げて「会釈」をしてくれる人がとても多くなったと感じています。少しでもあいさつを頑張ってみようという気持ちが伝わってきてうれしく思います。会釈ができたなら、少しずつ声を出して、自分のあいさつをレベルアップできると素晴らしいですね。

さて、1学期も半分が過ぎました。新しい友達ができ、仲良しが増えた人も多いと思います。今月はこんなお話をしようと思ってみました。「本当の友達」ということについて考えてみましょう。

「泣いた赤鬼」ってお話、知っている子もいますね。4年生の道徳の本にも出てきます。今日はゆっくり読み聞かせをしている時間はないので、簡単に紹介します。

### 「泣いた赤鬼」

ある山の中に赤鬼が住んでいました。鬼というと、乱暴で悪いことばかりしていると思うのですが、この赤鬼は優しく力持ち、動物や花を大切にしているいい鬼でした。赤鬼は、「みんなのために良いことをしたい、できるなら人間の仲間になって仲良く暮らしたい」と思っていました。

そこである日、こんな立て札を作って家の前に立ててみました。何と書いてあったかというと「心の優しい鬼のうちです。どなたでも来てください。おいしいお菓子がございます。お茶もわかしてございます。」って書いてありました。

次の日、村の木こりが通りかかって立て札を読みましたが、優しい鬼なんて信じられませんから急いで山を下りて、他の村人に相談しました。それで、どうしたものかと二人して立て札の前に行ってみましたが、どうも信用できません。「なんだか、きみが悪いな」「さては俺たちをだまして、取って食うつもりじゃないか」「あぶない、あぶない」そう言って逃げていってしまいました。

それを聞いていた赤鬼は、村人をだますつもりなんてなかったのに、そんな風に疑われて、頭にきて立て札を抜いて、力任せに踏みつけて壊してしまいました。

(以下省略します。お話の続きは、お子さんから聞いてください。)

さて、どうですか。赤鬼はどうして泣けてしまったのでしょうかね。青鬼は、どうして旅に出てしまったのでしょうか。人間たちは、最初から赤鬼と仲良くできなかったのかな。いろいろなことが考えられますね。担任の先生とも友達について話してみてください。もちろん私のところにお話に来てくれてもいいですよ。「本当の友達」って、どんな風に過ごすのがいいのでしょうかね。

このお話をきっかけにして、皆さんがいろいろと考えてくれるとうれしいと思います。

### 【音楽発表会】

6月8日(水)の3校時に1、3、5年生、4校時に2、4、6年生が体育館で音楽発表会をしました。感染症予防のためマスクを着用して行いました。低学年は元気よく、中学年はパワフルに、高学年は2部合唱で厚みのある美しい歌声を披露しました。ゴールデンウイーク明けから練習してきました。より良い歌にしようと一生懸命に練習することで、声を合わせるために心を合わせ、皆で作り上げる喜びを感じることができました。この経験をこれからの生活や学習に生かし、皆で協力してより良い学級や学年にしていきます。



今日は、待ちに待った音楽発表会がありました。私自身、とても満足しています。特に「命の大切さ」を知ってもらえたと思います。一人一人、心のこもった歌声でした。やっぱり練習は欠かせないんだなと思いました。練習した成果があったと思います。

そして、家に帰って、お父さんやお母さんに聞いてもらいました。私たちの歌を聞いて、二人とも、とても感動していました。「美しい歌声だね。」と言ってくれました。私も改めて聞いてみて、とても良い歌声だと思いました。

練習はとても大変でしたが、何回もしてよかったと思います。(6年児童感想 抜粋)

## お願い

### 【忘れ物について】

帰宅後、忘れ物に気付いたときは、学校に取りに行く必要がある内容かという点について御検討ください。失敗経験を通して自立心を育むこともできます。どうしても学校に取りに行かなければならない場合は、以下のとおり対応願います。

- ①事務室に立ち寄り、職員に声を掛けてから学級と名前を記録簿に記入する。
- ②保護者が子どもと一緒に教室へ取りに行く。

なお、休日は対応できませんので、御承知願います。

### 【雨の日の送迎も北駐車場の利用を】

NO.4の学校だよりにて、朝、車で送ってくださる際は、北駐車場へ停めてくださるようお願いしました。雨の日の送迎の際も、同様に北駐車場の利用をお願いします。路駐し、お子さんを降ろしたり乗せたりすると、走ってきたバイクや自転車と接触する可能性があります。事故に発展することが起きないように、御協力をお願いします。